

## 第10期 決算公告

自 2021年11月 1 日

至 2022年12月31日

株式会社 gamba

貸借対照表  
(2022年12月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	75,758	流動負債	74,435
現金及び預金	70,801	買掛金	884
売掛金	4,568	短期借入金	50,000
前払費用	256	未払金	1,767
その他	131	未払費用	1,083
		未払法人税等	30
固定資産	13,472	未払消費税等	1,005
有形固定資産	289	預り金	395
工具、器具及び備品	289	契約負債	19,253
無形固定資産	-	その他	15
ソフトウェア	-		
ソフトウェア仮勘定	-	固定負債	-
投資その他の資産	13,183	その他	-
繰延税金資産	13,183	負債合計	74,435
その他	-	(純資産の部)	
		株主資本	14,795
		資本金	35,343
		資本剰余金	30,008
		資本準備金	30,008
		利益剰余金	△50,556
		その他利益剰余金	△50,556
		繰越利益剰余金	△50,556
		純資産合計	14,795
資産合計	89,231	負債純資産合計	89,231

(注) 金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

工具、器具及び備品 4年

##### ② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

#### (2) 引当金の計上基準

##### 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上することとしております。なお、当事業年度においては、貸倒実績、個別の回収不能見込額が僅少なため、貸倒引当金を計上しておりません。

#### (3) 収益及び費用の計上基準

当社と顧客との契約から生じる収益に関する主要なサービスにおける主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は以下のとおりであります。

##### ・ SaaS サービス

SaaS サービスでは、当社のライセンスサービスを提供しております。一定の期間にわたり充足される履行義務であり、顧客がサービス提供期間にわたって便益を享受するため、当該期間にわたって履行義務が充足されたと判断し、期間に応じて一定額の収益を認識しております。

### 2. 会計方針の変更に関する注記

#### (収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。これによる当事業年度の売上高及び損益、並びに利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受収益」は、当事業年度より「契約負債」に含めて表示することといたしました。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行済株式の種類及び数

普通株式

17,551 株

4. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

5. 当期純利益金額

27,516千円